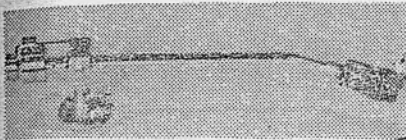


国内新製品紹介

グレースのトーン・アーム “G-465”

これは先頃発表したニュートラル・バランストーン・アーム G-445 を 16 インチ型にしたもので、特にスタジオ用として設計されている全長 374mm のスタチック・バランス型で、針圧 1gr 以下でも安定なトレーシングが行える。針圧を 250mg 以下から 6gr まで連続可変の行える直読式針圧装置（サイドバルンサー）がついている。またサイドバルンサーを 2 方向に調整することにより超軽針圧アームとしてもっとも優れたニュートラル・バランスを簡単にとることができる。定価は ¥9,500。

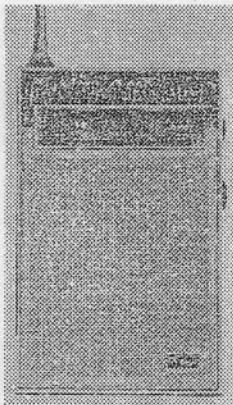


(東京都品川区大井元芝町 870 Tel. 761-0649)
品川無線 K. K.

NEC の新製品 2 種

●超小型 FM AM ラジオ “NTF-9M21”

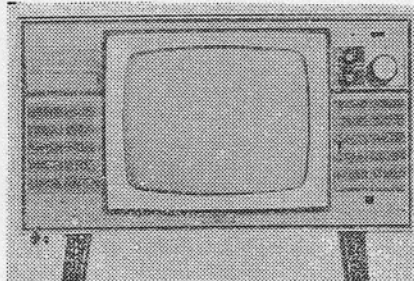
外形寸法 76×120×36.5mm で、重量約 420gr (電池とも) という小型ながら FM も受信できる レフレックス回路と高性能メサトランジスター、ドリフト・トランジスターと使った 9 石のもので、トランジスター式 FM ラジオでは日本ではじめてのコンプリメ



ンタリー・シンメトリー回路を採用し、歪の多い低周波トランスを除いて小型化をはかっている。最大感度は AM: 150 μ V/5mW, FM: 10 μ V/50mW。スピーカーは 6cm。電池は 9V 積層で約 40 時間の寿命がある。現金正価は ¥12,400

●16 型受像機 “16-S9”

スイッチを入れるとすぐに画線があらわれるという例のインスタントビジョン方式のものである。使用真空管は B 管ともに 16 球とダイオード 10 個である。音声出力は 2.5W、スピーカーは 12×18 cm のを 2 個使っている。また ABC もついている。消費電力は 135 W。外形寸法は幅 630×高さ 376×奥行 300(mm) で、重量は約 20kg である。現金正価は ¥59,000。

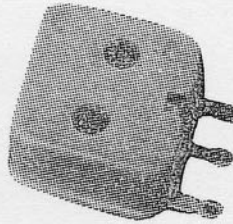


新日本電気 K. K.

ミツミの新製品 2 種

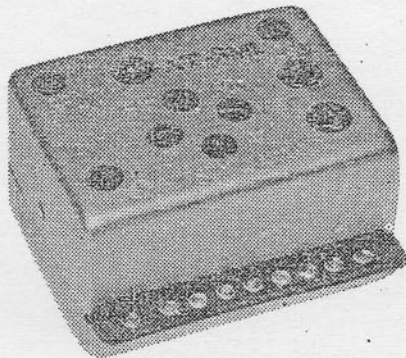
●FM 専用ポリバリ “PVC-2C20, 2D20”

周波数直線型の FM 専用等容量 2 連バリコンである PVC-2C20 は C max 20pF, C min 5pF, PVC-2D20 は C max 15pF, C min 4.5 pF のもので、容量誤差は極小、トリマー内蔵で優れた特性をもっている。Q 特性は 100Mc 10pF にて 150 以上、外形寸法は 20×20×14.5mm。



●自励式 FM マイクロチューナー “AT-SM1”

先球発表した自励式 FM チューナー AT-SM2 型と同一形状、同一回路構成でバリコンのみ AM-FM 用を使ったものである。主な規格は受信周波数 88~108 Mc, 実用感度 30 dB 以下、電力利得 15dB 以上、イメージ比 25dB 以上、局発周波数の漂動は ± 600 kc 以内 (20 $\pm 30^\circ$ C), -600kc 以内 (電源電圧 5.5V より 3.5V に変化したとき)、不要輻射は IRE 方式で測定して FCC 規格の 34dB 以下を満足するようになっている。外形寸法は 39×49×24.2 mm。

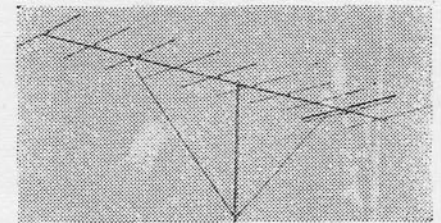
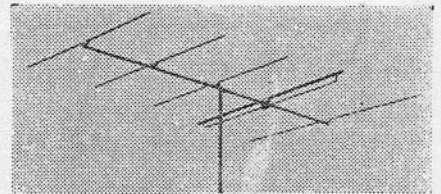


(東京都北多摩郡泊江町 Tel: 416-3131)

ミツミ電機 K. K.

DX アンテナ

DX アンテナの製造元である関西テレビ KK では最近完全防水機構を採用した S 型多素子アンテナを売り出した。機種は中遠距離用から極超遠距離用、それに共同聴視用まで合せて 27 種ある (別表参照)。ラジエーターは赤色の高周波焼付塗装による特殊加工を施してある。また給電部のベーク・ターミナルは高周波損失の少ない特殊樹脂を指用している。Y スターは丸棒を採用しハンマートーン加工を施し耐風雨に供えたものである。

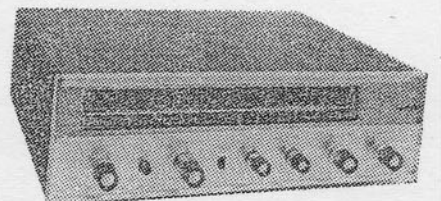


(神戸市兵庫区入江通 5 の 6)

関西テレビ工業 K. K.

パイオニアのステレオ・アンプ “SM-B206”

15 球+3 ゲルダイのチューナーつきアンプで、終段は 6BM8p.p. 2 チャンネルである。チューナーは一方が MW だけ、もう一方が FM-AM の 2 バンドで、FM 部はフォスターシーラー検波、IF 増幅 3 段、リミッター 1 段、RF 1 段である。アンプ部は上記のとおり 2 チャンネルで、出力は最大 13W×2、無歪 10W×2、周波数特性は 20c/s~50kc (± 0.1 dB 出力 500mW 時) 入力端子は MAG, AUX-Low, AUX-Hi, イコライザーは NF 型 (R IAA), トーンコントロールは CR 減衰型 (両チャンネル連動) となっている。最大消費電力は 130VA, 外形寸法は幅 420×高さ 135×奥行 333 (mm) で、重量 11.5kg である。現金正価は ¥35,000。



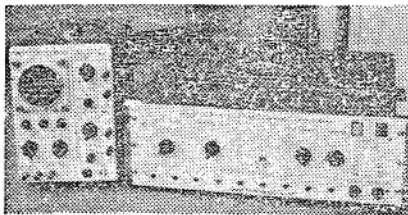
(東京都文京区音羽町 6 の 5 Tel. 941-3181)

パイオニア K. K.



サンライク電子計算機

電子計算機といえば大いびく大型で高価なものと思われがちだが、これは9桁までの加算、減算、符号変換、定数乗算、定数割算、微分、積分の計算ができるという、いわば簡易型の計算機で、小型、軽量、安価の3鳥をねらったものである。この計算機の使用により10時間ぐらいかかる実験でも10時間には500回もできるというぐらいの能率が上がるそうである。また取扱いも簡単なので、わずかな練習と知識でも操作できる。持運びも簡単

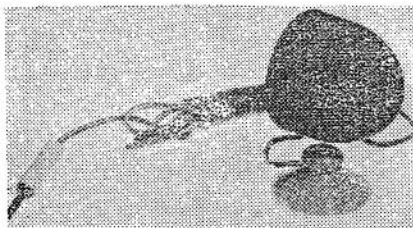


(東京都大田区女塚2の9 Tel: 738-0386)
日本電子産業K.K.

藤木の小型 SP ボックス

“ミニ”

これはラジオ用の小型スピーカー・ボックスで、机の上でも自動車の窓でも、どこにでも固定でき、ラジオに接続するジャックがついている。インピーダンスは8Ω、定格入力100mW、最大入力250mW、周波数帯域400~6000c.s、平均音圧レベルは92dBである。

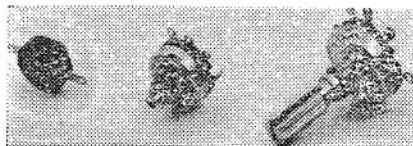


(東京都大田区上池上町98 Tel: 781-6001~5)
藤木電器K.K.

ツバメのミゼット・バリコン

“MVC-01”

MVC-01型ミゼット・バリコンのフィルムは、特にグラスファイバーを使用しているため従来のものよりQが高く(容量最大の位置で10Mcで200以上)、熱にも強い(210°C)。機構的には軸方向荷重4kg前後まで耐えられ、このとき回転トルクもほとんど変化はなく、回速ムラもない。静電容量は0.7±3pF、可変容量は1.8±0.5pFである。写真の一番左でその製品で普通のものと比べてある。



(東京都大田区大森1の343 Tel: 761-6988)
ツバメ無線K.K.

ナショナルの新製品 5種

シンクロスコープ

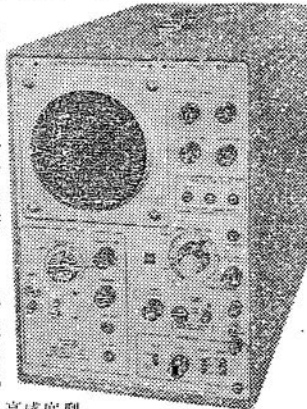
かねてよりシンクロスコープの開発に力を入れている松下通信工業では、このほど4機種の新製品を発表した。

- (1) VP-513
A: DC~5
Mc 広帯域型
- (2) VP-514
A: DC~5

Mc 広帯域、高感度型

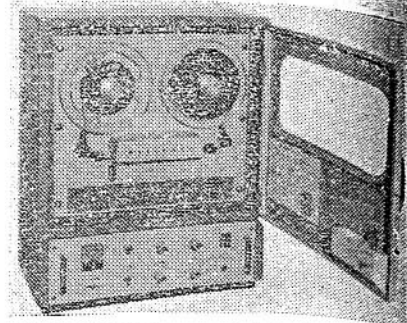
- (3) VP-540A: 広帯域、高感度の2現象型
- (4) VP-541A: 広帯域二現象型である。

写真はVP-514A型で、130mmのブラウン管を使用している。VP-514AはVP-513Aにくらべ、感度が5mV/cmと高く、さらに単掃引が可能となっている。



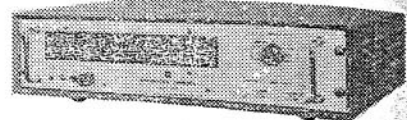
普及型 BGM “WB-300”

BGM演奏装置の新製品で7号テープ専用の小型機である。テープ速度は9.5cm/秒で往復2時間の演奏ができる。ヘッドは2ヘッド方式(正方向および逆方向専用)、モーターは3モーター式で、自動反転装置もついている。またタイマーによる自動演奏、リモコンも可能である。出力は10W(無重7W)、出力インピーダンスは、4.8、16Ω、1、2、4kΩの端子がある。外型寸法は幅460×高さ570×奥行260mmで、重量は30kgである。現金正価は¥150,400。



フリケンシー・カウンタ “VP-431A”

松下通信工業では直接120Mcまで計数表示のできるわが国最初のフリケンシー・カウンタを開発した。これは120Mcまでの周波数をコンバーターを用いずに直接高精度に測定できるものである。周波数測定専用の機器であるため、ツマミの数は極力減らして取扱いを便している。外形寸法はラック型が、幅480×高さ99×奥行330(mm)、ケース型は幅510×高さ120×奥行350(mm)で、重量は約12kgである。



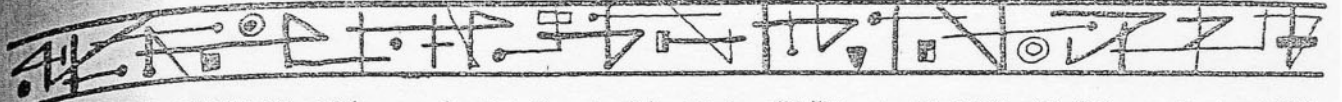
以上 松下通信工業K.K.

超音響ステレオ装置 “SE-5500”

レコード演奏が完全に自動化されたオートプレーヤーがつき、音響的にMFB方式をとり

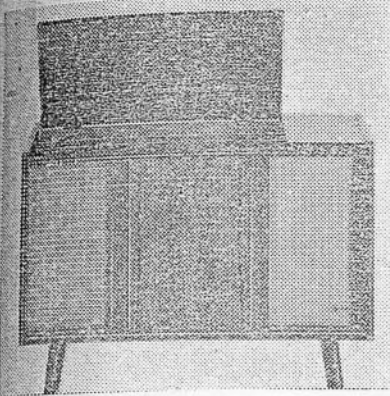
DX アンテナの “品種と規格”

品名	素子数	チャンネル	用途	利得		定在波比 S W R
				シングル	スタックド	
				(dB)	(dB)	以下
5S13	5	1~3ch	中距離離用	8.3~8.3	10.5~10.5	2.0
7S13	7	1~3	遠距離離用	9.5~10	11~12	2.5
10S13	10	1~3	超遠距離離用	12~12	14~14	2.5
8S410	8	4~12	遠距離離用	10~11.5	12~12.5	1.4
10S412	10	4~12	超遠距離離用	11~12.5	13~14.5	1.4
12S412	12	4~12	極超遠距離離用	13.5~14	15~16	1.3
8S48	8	4~8	遠距離離用	11~11	13~13	1.4
10S48	10	4~8	超遠距離離用	12~13	14~15	1.4
12S48	12	4~8	極超遠距離離用	13.5~14	15.5~16	1.3
8S680	8	6~10	遠距離離用	11~11	13~13	1.4
10S680	10	6~10	超遠距離離用	12~12.5	14~14.5	1.4
12S680	12	6~10	極超遠距離離用	13.5~14	15.5~16	1.3
8S912	8	9~12	遠距離離用	11~11	13~13	1.4
10S912	10	9~12	超遠距離離用	12~12.5	14~14.5	1.4
12S912	12	9~12	極超遠距離離用	13.5~14	15.5~16	1.3
10S1X	10	1ch専用	超遠距離離用	12.5	14.5	1.2
10S2X	10	2 "	超遠距離離用	12.5	14.5	1.2
10S3X	10	3 "	超遠距離離用	12.5	14.5	1.2
12S4X	12	4 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S5X	12	5 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S6X	12	6 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S7X	12	7 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S8X	12	8 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S9X	12	9 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S10X	12	10 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S11X	12	11 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2
12S12X	12	12 "	共同聴視用	14.5	16.5	1.2



入れたものである。受信周波数は 535~1605kc, 3.8~12Mc, 76~90Mc の 3 バンド。使用真空管は 6AQ9, 6BF6, 6BA6×2, 12AX7×2, 15MP19×4 に、ダイオード DA-79×3, FR-1M×2 である。終段は OTL で出力は最大 6W×2。低歪 4W×2。スピーカーは低音用 20cm 型と高音用には音響レンズ付きの無指向性 6.5cm とが 1 組ずつついている。キャビは完全密閉型である。クロスオーバーは 10 kc VC インピーダンスは 800Ω と 8Ω。プレーヤーは 2 極インダクション・モーターを使った 3 スピード PU はバイプ・アーム使用のセラミック型、針圧 5~6gr となっている。

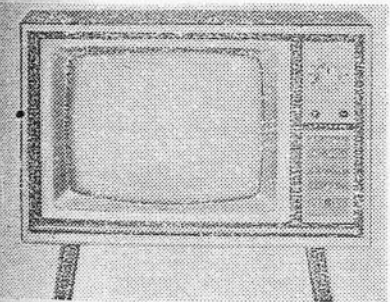
外形寸法は幅 935×高さ 800(脚とも)×奥行 405mm。重量は 32.2kg である。現金正価は ¥52,800



松下電器・ステレオ事業部

●19 型高感度受像機 “TF-38L”

19 型コーナー・ワイド、メタルバック・ブラウン管 AW47-12 と 15 球+5 ダイオードを使った高感度受像機である。自動制御は AFT, AGC, AFC。スピーカーは 18cm×10cm 楕円型のものを使っている。音声出力は無歪 2W。キャビは木製のコンソレット型。外形寸法は幅 670×高さ 455×奥行 380mm で、重量 26kg である。



松下電器・テレビ事業部

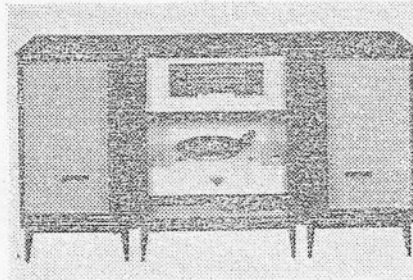
ビクターの新製品 3 種

●デラックス・ステレオ・コンソール “SSL-120”

0.8 グラムという超軽針圧のフローティング・マグネチック PU を使い、スピーカーは 8 個、総合出力 32W という大型のコンソールである。主な規格を列記すると、右チャンネルは MW: 535~1505kc, SW: 3.8~12Mc, FM: 76~90Mc。左チャンネルは MW: 535~1505

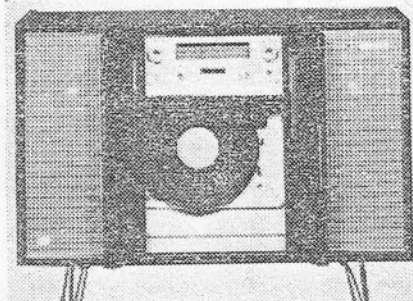
kc の 4 チューナーをもっている。真空管は 17EW8, 12BE6×2, 12BA6×4, 6AL5, 12AX7×4, 12BH7-A, 6GW8×4 で、消費電力は 105W。出力は 16W×2。スピーカーは低音用 30cm 2 個、中音用 16cm 2 個、中高音用にホーン型 2 個、それに高音用として同社自慢の無指向性パノラマ・スピーカー 2 個と、計 8 本のスピーカーを使っている。入力インピーダンスは 4Ω。公称入力 10W。再生周波数は 30~20,000 c/s (±5dB)。プレーヤーは 4 スピード(シンクロナス・コンデンサー・モーター)、ターンテーブルは 28cm 二重型、PU はフローティング方式のアームにパーフェクト・バランス型のマグネチック・カートリッジがついていて、針圧は 0.8gr である。

これらを組合わせてステレオとした場合の総合の外形寸法は幅 1664×高さ 865×奥行 398mm で、重量 73.5kg となる。現金正価は 3 点式で ¥160,000。



●薄型のデラックス電蓄 “STL-380”

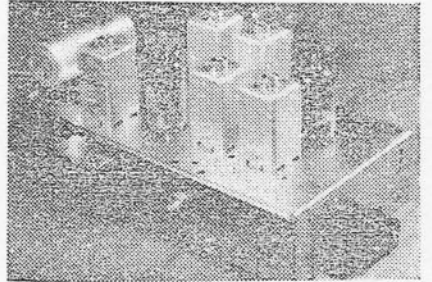
困地向きとでもいおうか、比較的狭い部屋でも充分に使えらる薄型(奥行 255mm)のキャビネットに収められた、FM つきの電蓄である。プレーヤーは写真にのらんのようにクマ型におさまられる。受信周波数は中波放送と FM で、出力は 2.3W×2。使用真空管は 12DT8, 12BE6, 12BA6×2, 12AV6×2, 30A5×2。スピーカーは 20cm ダブルコーン型 2 個と、パノラマ型 2 個である。プレーヤーは 4 スピード(オート・ストップ、スリーピング・スイッチ付)、シンクロナス・モーター使用。20cm ターンテーブル。PU は完全バランス型クリスタル(サファイア針)、針圧 6gr である。外形寸法は幅 92.2×高さ 753×奥行 255(mm)で、重量は 21.5kg である。現金正価は ¥46,900



●FM マルチ用ステレオ・アダプター “MPX-1101”

これは FM つきステレオ・セットに組込んで、FM マルチプレックス方式のステレオ放送をきくためのものである。既発売のセットに組合わせればよい。入力レベルは 0.05~1.2 V、利得は 0~+3dB、分離度 34dB、周波数特性

50~15,000c/s(50μS ディエンファシス ±3dB) 消費電力 6W である。



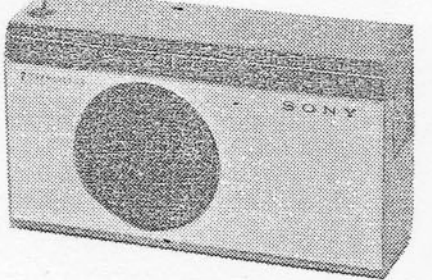
(東京都中央区日本橋本町 4 の 1)

日本ビクター K. K.

ソニーの新製品 2 種

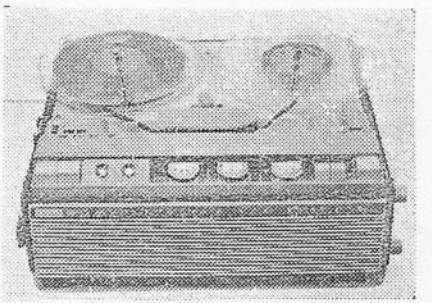
●7 石 2 バンド・ラジオ “TR-733”

受信周波数 530~1605kc, 3.9~12Mc の 2 バンドで、出力は最大 230mW。無歪 180mW。スピーカーは 6cm (8Ω) アンテナはパーアンテナ自蔵で、10 段引伸ばし 56cm のロッド・アンテナがついている。電源は 4AA または単三×4。外形寸法は 78×140×42 (mm)、500gr。現金正価は ¥8,800



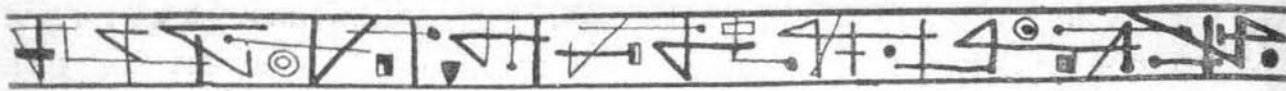
●テープレコーダー “TC-462L”

2 チャンネル、2 トラック・システムで、ヘッドが上下に 2 つ並び、録音系・再生ブリアンプを 2 組もっている。各チャンネルそれぞれ単独に録音・再生することや、上下のトラックに別々の録音し、同時または交互に再生することができるので語学の学習・研究用に好適である。またステレオの録音再生ができる。ただし再生のときはもう一つの SP システム “ソニー SA-461” を使用する。周波数特性は 50~13000c/s。テープ・スピードは 19cm/秒と 9.5cm/秒、リールは 7 号まで、ワウ・フラッターは 19cm/秒 のとき 0.2% 以内。スピーカーは 8×17cm。出力は 2.5W。ジャックはマイク用 1, 高レベル用 1, 外部スピーカー用 1。外形寸法は幅 375×高さ 165×奥行 315(mm)で、重量は約 11kg。現金正価は ¥49,500



(東京都品川区北品川)

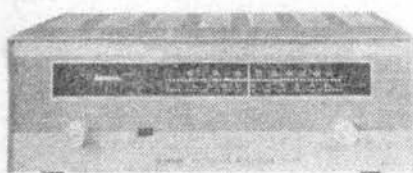
ソニー K. K.



トリオの新製品 4 種

●FM-MPX ステレオ・チューナー “FX-2”

普通の FM 放送の受信のほかに FCC 方式で放送される FM マルチ・ステレオを受信する回路を内蔵している。FM ステレオを受信したときのステレオ・セパレーションは 38dB 以上あり、歪率は 1% 以下という性能をもっている。リミッターは 2 段、ノイズ・フィルターつきで外来雑音を取除いている。またステレオ局をきかすための FM ステレオ・インジケータもついている。周波数特性は 50~15000c/s (0.5dB 以内)、出力電圧は 1.5V (100% 変調にて)、外形寸法は幅 320×高さ 125×奥行 240 (mm) で、重量は 5kg 現金正価は ¥23,200



●AM-FM-MPX ステレオ・トライアンプ “WX-400”

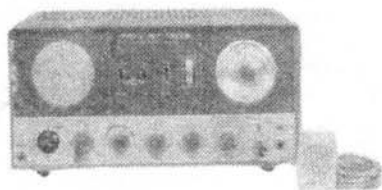
FM ステレオ放送の受信もできるトワイアンプである。ステレオ・セパレーションは 38dB 以上、歪率 1% 以下である。AM (535~1605 kc) の受信もできる。FM 部は 3 連バリコン使用、リミッター 2 段、ノイズ・フィルターつきである。終段は 6BQ5pp の 2 チャンネルで、出力は最大 20W×2、無歪 18W×2。レコード再生のときのプリアンプ部は完全な直流点火となっている。このほか、ラウドネス・コントロール、テーブモニター装置もついている。またステレオ用イヤホンを使うこともできる。外形寸法は幅 450×高さ 140×奥行 355 (mm) で、重量は 14kg となっている。現金正価は ¥49,200。



●ハム局用トランシーバー・キット スカイドリーム “TRH-1”

もっともポピュラーなハム・バンド 3.5Mc と 7Mc 用のトランシーバーで、球なし、3.5Mc クリスタル付、マイク付のキットである。送信部は終段 807 で、空中線電力は A₁ 10W、A₂ 8W。出力回路は π マッチ、使用マイクはクリスタル型である。受信ダイヤルはハム・バンド専用、また BFO つきであるから電信の運用もできる。終段プレート電流、グリッド電流計つきで、受信時には S メーターとして働く。

発振は水晶発振 (VFO 入力端子もついている)、変調はプレート・スクリーン同時変調、電鍵操作は終段カソード・キーイング方式である。受信周波数は 3.5~3.6Mc、7~7.2Mc、感度は 22dB (7Mc S/N 10dB のとき)、選択度は 30dB (±10kc 離調)、出力は最大 6W。フォーン端子は 8Ω、消費電力は送信時 98VA、受信時 68VA。外形寸法は横 380×高さ 180×奥行 250 (mm)、重量は 9.5kg。現金正価は ¥23,200。



●広帯域オシロ “CO-504”

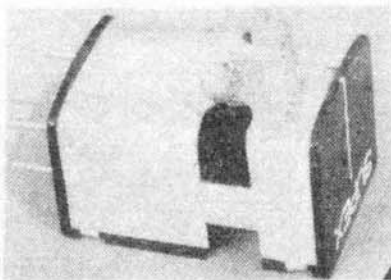
130mm のブラウン管 5U1 (F) を使ったオシロで、垂直増幅器の帯域は DC~4Mc (-3dB) となっており、DC を含む極めて低い周波数も扱うことができるから、一般の波形観測のほか、オートメーション装置、医療関係の仕事にも利用できる。特殊の同期回路により同期のかりがよく安定である。また電源周波数による、ブラウン管は蛍光面がフラットになっているため、観測しやすく、写真撮影の場合の誤差がない。また水平増幅器の周波数特性は DC~200kc (-3dB) である。外形寸法は幅 230×高さ 330×奥行 460 (mm)、重量は 12kg。現金正価は ¥79,000

(東京都大田区調布千鳥町 74 Tel: 751-7121)

トリオ K. K.

スペックスの Hi-Fi カートリッジ “SD-500”

これはムービング・コイル型のステレオ・カートリッジである。再生周波数範囲は 20~20,000c/s、クロストーク: 20~25dB、針圧: 0.7~1.5gr、インピーダンスは 1 次が 2Ω、2 次が 200 kΩ。付属品はオルトフォン専用トランス 251 または 384 である



(東京都世田谷区深沢 2-36 Tel: 701-7027)

K. K. スペック

TAYA の新製品 2 種

●セラミック・ステレオ・カートリッジ “TCS-2”

ターンオーバー方式のステレオ・カートリッジであるから取扱いが簡単である。セラムは 300°C~500°C まで耐えられるので、高温

の直射日光の下で使用される場合の多いポータブル電音などに好適である。負荷抵抗: 1MΩ、感度: 0.4V (20°C 15kc/5cm/sec)、周波数特性: 50~12,000c/s、クロストーク: 15dB 以上 (1000c/s)、感度差: 3dB 以内 (1000 c/s)、針圧: 7±1gr、自重 7gr である



●ステレオ・プレーヤー “CPH-500”

4 極コンデンサー進相型の高ステリシス・シンクロナス・モーターを使用した 4 スピード・ステレオ・プレーヤーである。PU アームは特殊合板加工の木製として、共振のトラブルを抑えている。カートリッジは 4 ポール、4 コイルのムービング・マグネット型 (ダイヤ針)、周波数特性は 20~18,000c/s、出力電圧は 7mV/5c/s (1000c/s) である。ターンテーブルは 30cm (アルミ合金鋳物 1kg)、S/N 比 45dB 以上、ワウ 0.25% 以下である。ケースの外形寸法は幅 510×高さ 240×奥行 480 (mm) である。



(東京都千代田区神田紺屋町 34 広栄ビル)

田谷精機 K. K.

八木アンテナ

テレビのアンテナで有名な八木アンテナが売り出した、5 エLEMENT の高感度アンテナである。組立てもきわめて簡単にできる。現金正価は ¥2,700。また同時に売出した 3 エLEMENT のものは正価 ¥1,350 である



(東京都千代田区神田旭町 12 Tel: 270-6411)

八木アンテナ K. K.